

## 第 3 回地域保健福祉部会 (R 元. 12. 17) における主な意見

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
1	山田委員	地域共生社会のために、お互いに助け合うことが大事 ということを、マンション等転入者に、区からもアピ ールしているのか。	区役所では、地域活動協議会の紹介や町会加入の案内について、 転入届時にリーフレットの配布や、区ホームページ、広報紙など に掲載し周知に努めており、引き続き行っていく。
2	中田 部会長	つなげ隊の活動は非常に大事なので、区役所と区社会 福祉協議会との関係を整理し、区社会福祉協議会にも う少し任せ、つなげ隊を働きやすくしてほしい。	「つなげ隊」は地域における区民の相談窓口として、また区内に おける福祉に関する情報を集約し、福祉課題の把握と地域への福 祉に関する情報伝達のネットワーク機能も含めた組織として、鶴 見区社会福祉協議会に委託して各地域に配置している。今後とも 「つなげ隊」がより活動しやすくなるよう鶴見区社会協議会と連 携・協力する。
3	江口委員	ウォーキングカレンダーについて、毎日見るものなの で、例えば調理実習の開催予定や、前年開催された事 業の時期を掲載することで、区が行う健康増進事業へ の参加に繋げることができるのではないかと。	開催予定の事業の掲載については、作成時期には実施日等が決定 していないため掲載が難しい事業もあるが、食育推進強化月間や 健康月間の啓発など、内容を検討・工夫し取り組んでいく。

NO	委員名	主な意見	対応方針・対応
4	中田 部会長	区政会議委員の部会の振り分け方はどのように決めているのか。また、今後決める時には、委員の意見も聞いてほしい。	推薦団体等が普段携わっておられる分野、公募の小論文のテーマ等に応じて、関係する部会に事務局で振り分けさせていただき、全体会でご意向を確認してきたが、今後は、ご意見を参考に検討したい。
5	中田 部会長	新しい区長になったが、広報紙に毎月区長が載っていない。区民に区長を知ってもらうためにも、広報紙に毎月載せるべきではないか。	広報紙に機会を捉え、できるだけ区長、副区長を掲載するよう紙面構成を工夫することとし、既に1月号の「新年のごあいさつ」、2月号の「区長のオススメイベント」で区長の顔写真を掲載した。
6	綿世 副部会長	避難所開設運営訓練を中学校や高校でも実施してほしい。また、鶴見区全体での避難所開設の訓練も考えてほしい。	中学校や高校での訓練も必要と考えており、関係する地域間で合意があれば訓練実施が可能であるため、地域防災連絡会等で提案を行っていききたい。区全体での訓練については、他区の実施状況を含め研究していききたい。